

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



159号

2014年6月29日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 都市計画審議会の感想

5月23日、都市計画審議会の傍聴に行きました。題名は「板橋区景観計画(変更案)(常盤台一・二丁目地区景観形成重点地区指定、大山まちづくり総合計画)、板橋区役所仮庁舎6階でたった3名の傍聴人に、5、6名の議員さんと15名ほどの委員さん、関係各庁者約10名でした。委員、議員の交代セレモニーがあり、15分遅れての開催。都市景観担当者は、早口で変更案を読み上げて行きます。後に図書館などで閲覧資料で開示されるそうですが、その場だけの閲覧を許された傍聴人はスピードについていけません。結果、はっきりとどこが変更されたのか不明でした。

質疑応答では、A委員の常盤台の世帯数の質問に約3,500ほどと景観担当者が答え、B委員がクルドサック、プロムナードなどわかりやすく住民に伝えられるか?との質問。C委員が常盤台は板橋区内、都内のみならず国内でも重要と発言、歴史的遺構、樹木も大事、商業地と住宅地の配慮も必要と意見を述べられました。

D委員の電線の地中化は推進可能かとの質問には財政的に莫大で計画は無い、と。最後にE議員が、「常盤台在住(実は前野町)だが既に街は壊れている。」と発言、細分化の規制は出来るのか?についての答えは用途は届け出制になると担当者の言。しかし私の疑問は、ガイドラインはあるのに、既に業者のオープン・ハウスは細分化した住居を販売してます。他にE議員は、常盤台には耐震性に適合していない老朽医院が二つもある、各医院長は莫大な施設の改築費に悩んでいる、そちらも問題であると提言。午後4時をまわり、議長は閉会を宣言。お開きになりました。

あまりに長い題名とお堅い文面でわかりにくく入りにくいイメージでしたが、議員、委員、都市景観担当者は真剣に討議していました。ただ私達住民の意見はパブコメだけでは不十分、これからの課題が見えてきました。 E・O

○ 住民陳情第1項

都市建設委員会で採択されるも
本会議で自・公の反対で否決

6月25日(水)板橋区議会で、常盤台住民が提出している陳情のうち、第1項の採択について表決が行われました。

この陳情は、2003年に5500以上の地元住民の署名を付けて、駅前高層建築に反対した陳情を受けて、続けられているものです。今回陳情の第1項「常盤台駅前の景観・環境を守るために何かしら手立て(例えば商業地域を準商業地域に変更するとか)を講じてください」が都市建設委員会では採択されたのに、本会議では自民党・公明党の反対で否決されてしまいました。常盤台駅前の現商店街の高さはガイドラインで充分認められています。商業ビルでは鮎金ビルがそれを証明しています。それ以上の高さを要求するのは商業地なのに街全体と不調和な高層住宅を建てようとするからです。実情の認識不足と今までのような私権を主張するだけの価値観からまだまだ脱却できていないようでした。

○ 常盤台の歴史写真展

5月8日(木)~13日(火)に「ギャラリー一服部」で、常盤台の歴史をふりかえるために、過去の展示物の中からいくつか選んで展示しました。新しく住民になった人たちも興味深く見ていましたが、昔からの住民も写真を見ながら思い出話に興じていました。

上記の写真展会期中の5月11日(日)午後、ドイツで活躍している建築家水島信さんの講演を催しました。常盤台の一部について面白い景観計画のいくつかが提示され、おおいに勉強になりました。近々発行予定の著書には常盤台が取り上げられるそうです。

また、東上線100年展の企画もあります。

平和公園のカルガモ

去年、平和公園で八羽の子鴨を育てたカルガモが、今年も可愛い雛を孵しました。同じお母さんかは分かりません。

五月一七日にお目見えした雛たちは今年は九羽、おもちゃのアヒルそっくりですが、他の大きいカモや鳩に、生意気にも立ち向かって行き、追い払ってしまいます。餌付けはしないように心がけるべきでしょうが、周辺の住民はみんな大事に大事に見守っており、都会の寂しさを紛らわす癒しになっているようです。六月下旬では、もう親と同じぐらいの大きさになっています。去年よりも驚くほど早い成長ぶりです。

高齢化社会での孤独死

日本全国で高齢化が進み、同時にひそかに進行しているのが、ひとり住まいの方の孤独死です。この常盤台でも何人か既に例がありました。昔から個人主義が発達したまちですが、これからは少し近所にも交際を広げていった方が良いのではないかと思われれます。

女性議員への低劣なヤジ

都議会でのセクハラやじが問題になっているが、地方議会でもっとひどいと言われています。板橋区議会ではどうかと注目して傍聴しましたが、いつもより大人しかったそうです。世界中に日本の恥ずかしい実態を知られてしまったのですから、これで幕引きせず、深く反省して自らにも厳しくしていかなばならないでしょう。

常盤台公園に

自動販売機は要らないのでは？

四月のある日、突然公園のトイレ脇に清涼飲料水の自動販売機が取り付けられました。自動販売機は道を渡った駐車場にもありますし、駅の方に一分も歩かないうちにコンビニもあります。

この公園で飲み食いする姿は余り見られませんが、また、そういう場所にしたくないと思います。美しい緑の中に、人工的なケバいものはなるべく避けたいものです。

更に、原発の問題とも絡みますが、日本国内、自動販売機がありすぎて、電力消費はばかにならないものだと思います。自動販売機を半分に減らせば、原発に頼らない電力が確保できるかもしれませぬ。無駄なことはやめましょう。

集合場所は常盤台公園

五月連休の六日、常盤台公園にリュック姿の中青年男女が百人以上集合していました。いつものご迷惑宗教団体ではないので、おそろおそろ端っこの人に聞いたところ、「日本万歩クラブ」という登山やハイキング、散歩を楽しむ団体でした。入会案内まで頂いてしまいました。が、年会費四五〇〇円は年金生活者には結構な額かなあとご遠慮することにしました。

ちよつとお天気は肌寒かったです。石神井川沿いに王子まで歩くコースでした。東松山歩こう会もそうでしたが、集合場所としてこの公園は良いのかもしれない。

常盤台公園のはなづくり

今年は赤いバラが花をよく付けました。アングル・ウオーターという古くからのバラです。その隣の白はアイス・バーグ、別名シュネー・ビッチェンです。ピンクは右からフランク・ジュランビル、マダム・イサク・ペレル、紫玉、とグラデーションを作るように植えたのですが・・・角を曲がるとピエール・ドゥ・ロンサールとブラザー・カドフイルという名前のピンク色です。

常盤台にはバラ専門の植木屋さんが埼玉からやってきますが、ついでに肥料を頼んだところ、特別に作っている肥料で一袋五千元もしました。はたして効き目やいかに。

六月初めに公園課に注文していた苗が届き、サルビアなどに植え替えましたが、いつもより注文数が少なかったため、少し補充したいと思います。ヒマワリなどは種でまいているので、芽が出るまで更地のままのところがあります。

この花壇は、公園の改修時には何も計画されていなかった所で、残土を積み上げたのでしようか、地面よりかなり高くなっています。小さい子供達には花がよく見えないのは残念ですが、踏み荒らされない利点もあるようです。

図書館の改築があれば、また新たな変化が生まれることでしょう。